

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	地球環境構造小委員会	主 査 名：大谷 恭弘 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：中村 勉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>&lt;設置目的&gt;            建築材料・施工と建築構造の立場から、地球環境問題への取り組みを検討する。            具体的には、建築物のライフサイクルにおける環境負荷の概念に対する理解を深め、環境負荷削減のために、建築材料の使用と構造物の設計において取り組むべき課題と方針を明らかにする。</p> <p>&lt;16 年度活動&gt;            ・地球環境の観点から 2050 年に目指す地域システムの在り方や安全・安心社会に向けての建築行為の中で構造分野が果たすべき役割を明確にする。            ・建物の寿命マネジメントや環境負荷低減、木材利用ならびに進行しつつある気候変動への対応、およびそれらの事業化について検討する。            ・建築の材料、施工、構造の立場から、取り組むべき課題と目標を明らかにし、2050 年の低炭素社会の実現に向けて構造分野の若手技術者が持つべき概念・知識をまとめたテキストの作成に掛かる。            ・2050 年の低炭素社会の実現に向けた構造分野のロードマップを検討する。</p> <p>&lt;16 年度活動&gt;            ・前年度から取り掛かっている 2050 年の低炭素社会の実現に向けて構造分野の若手技術者が持つべき概念・知識をまとめたテキストの執筆を行い、年度末を目処にテキスト案の作成を完了する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：大谷恭弘 (神戸大学)、幹事：兼光知巳 (清水建設) 稲田達夫 (福岡大学)、田村和夫 (千葉工業大学)、西村 功 (東京都市大学)、三橋博巳 (日本大学) 平川倫生 (三菱地所設計)、藤田正則 (山口大学)、柳橋邦生 (竹中工務店)、軽部正彦 (森林総合研究所)、他 2 名	
設置 WG (WG 名：目的)	「高耐震都市研究WG」 地震災害に対する都市の脆弱性の問題などの現代都市が抱える緊急の課題について、地震工学あるいは耐震工学・材料工学の立場から検討を行い、解決のためのシナリオを見出す。 「地球環境時代における木材活用 WG」 カーボンニュートラルな木材の活用促進を図るための現状課題の抽出とその解決策を、国内需給や国際的な資源循環を踏まえて提案する。	
2015 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q080-12.html">http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q080-12.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<p>構造分野の若手技術者が持つべき概念・知識をまとめたテキストの作成中。 当初、作成されたテキスト案に関して PD 等を開催予定としたが、執筆遅延 等の為、本年度中にテキスト案の作成を完了予定とした。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>特になし</p>